

2019年1月17日
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

聖籠町との『地方創生に関する防災力向上に係る連携協定』の締結について

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、子育て支援と高齢者福祉を重視する聖籠町の「安心」・「安全」に貢献するため、聖籠町（町長：西脇 道夫）と『地方創生に関する防災力向上に係る連携協定』を1月17日に締結したことをお知らせします。

1. 背景・経緯

- ・ 聖籠町は、海岸沿いに新潟東港工業地帯、内陸部に穀倉地帯を有し、人・モノが豊富です。また、新潟県の自治体で高齢化率が最も低く、活気にあふれる街です。一方で、昭和30年代から40年代にかけて発生した水害や新潟地震で甚大な被害を受けるなど、常に自然災害と隣り合わせの歴史を歩んできた街でもあります。
- ・ 損保ジャパン日本興亜は、災害時におけるドローンを活用した被害情報の収集や平常時における地域の防災力向上の取組みなどを行っています。
- ・ 損保ジャパン日本興亜は、新潟県におけるトップシェアの損害保険会社として、地域の産業の安定的な繁栄を支援するノウハウを活かし、町民サービスの向上と地域の活性化に貢献するため、聖籠町に地域創生に関する防災力向上に係る連携について提案し、このたび協定に至りました。

2. 協定の目的

聖籠町と損保ジャパン日本興亜は、緊密な相互連携と協力により、地域の安心・安全の向上を図ることを目的とします。

3. 協定の主な内容

以下の4項目において業務連携を行います。

- (1) ドローンを活用した情報収集
- (2) 防災意識向上の普及
- (3) 地震保険の情報提供や加入促進
- (4) その他安心・安全に関する相互協力

4. 今後について

今後も地方自治体と連携し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的かつ持続的な社会を創生することに貢献していきます。

以上